

取付説明書

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、「取扱説明書」「取付説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。
- 取り付け前にスマートルームミラーの取り付け可能な車種をご確認ください。記載した取り付け可能な車種でも一部装着できないことがあります。

—販売店様へ—

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

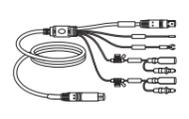
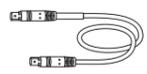
● 作業の前に

- 異常発生時やお問合せはまず、お買い上げの販売店、または SOLING サポートセンターにご相談ください。(URL: <https://www.soling.co.jp/support/>)
お客様による修理 / 分解は、絶対におやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

● 作業の進め方

- 1) 同梱物を確認する (→ P2 ●構成部品)
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す
- 3) ミラー本体をセットアップする (→ P5 ●本体のセットアップ)
- 4) ミラー本体を車両に取り付ける (→ P6 ●車両への取付方法)
- 5) リアカメラを車両に取り付ける (→ P6 ●車両への取付方法)
- 6) GPS アンテナと接続コードを配線する (→ P7 ●電源コードの配線)
- 7) バッテリーのマイナス端子を元に戻す
- 8) カメラ角度を微調整する (→ P8 ●フロントカメラ / リアカメラの角度調整)

● 構成部品

①ミラー本体 	②ブラケット 	③台座 A 
④台座 B 	⑤ブラケットカバー 	⑥台座用ネジ  (×5)
⑦リアカメラ (約 3 m) 	⑧接続コード (約 3.2 m) 	⑨ GPS アンテナ (約 2 m) 
⑩中継コード (約 6 m) 	⑪カバー 	⑫ハーネスカバー 
⑬クランプ  (×3)	⑭バンドクランプ  (×3)	⑮ microSD カード (本体装着) 
⑯クリーナー 		

- 本書で使用しているイラストは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本機の外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

● 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産への損害を防止するため、必ず守っていただきたいことを説明しています。

取付説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ 守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	しなければならない内容です。

警告

-  本機は DC12V マイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしないでください。
火災や故障の原因となります。
-  ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
-  車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
-  車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となります。
-  取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
-  車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

-  本機を分解したり、改造しないでください
事故、火災、感電の原因となります。
-  画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
-  エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
-  電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
-  ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア数) のヒューズを使用してください
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
-  万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
-  接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください
ショートにより火災、感電の原因となります。
-  コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。

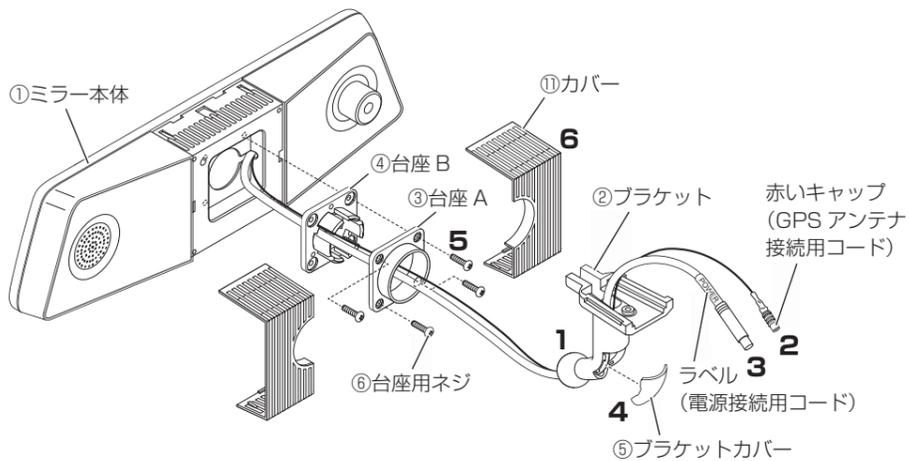
注意

-  本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
-  湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となります。
-  しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となります。
-  コードが金属部に触れないように配線してください
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となります。
-  コード類を決して途中で切断しないでください
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。

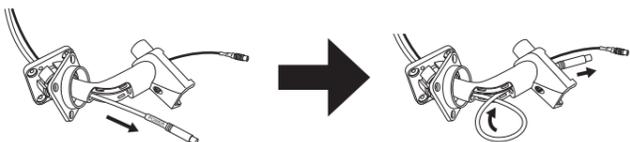
● 本体のセットアップ

下記の順に組み立てていきます。

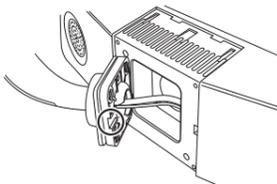
- ②ブラケットに③台座 A を通し、④台座 B を取り付けます。
- ①ミラー本体の赤いキャップの細いコードを手順 1 で組み立てたブラケットに通します。
- ①ミラー本体の「POWER」ラベルの付いた太いコードを手順 1 で組み立てたブラケットに通します。^(※1)
- ⑤ブラケットカバーを取り付けます。
- ブラケットの台座部分を①ミラー本体に取り付け^(※2)、⑥台座用ネジでとめます。(4箇所)
- ①カバーを取り付けます。



(※1) ポイント：「POWER」ラベルの付いたコードはブラケットの途中で一度外に出してから通します。



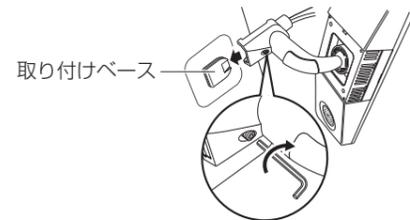
(※2) ポイント：台座の溝の向きを本体のコード接合部の向きに合わせて取り付けてください。



5

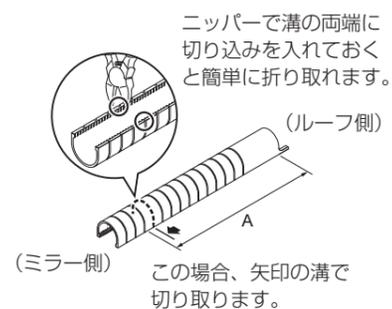
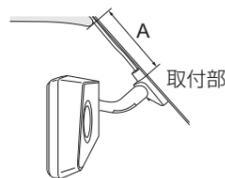
● 車両への取付方法

- ミラー本体の取り付け
 - 1 車に取り付いている純正のルームミラーを取り外します。
 - 2 フロントガラスのベース部にスライドして取り付け、ボルトで締め付けます。



- 3 ⑩ハーネスカバーを取り付けます。
 - 3-1 ルーフヘッドライニングと取付部までの距離 A を測定します
 - 3-2 A の寸法より短い長さになるよう、最寄の溝で切り取り使用します

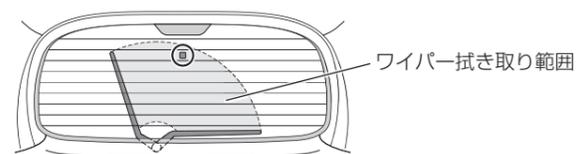
ルーフヘッドライニング



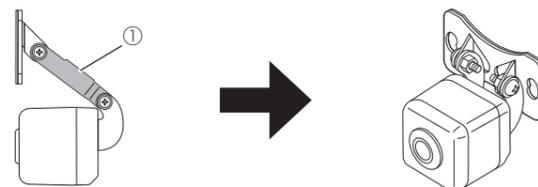
- リアカメラの取り付け (車室内取付を推奨)

- ・ リアガラスの中央位置、かつワイパーの拭き取り範囲に付属の両面テープで取り付けてください。
- ・ ステア取付面が電熱線と重ならないように取り付けしてください。

(取付箇所の例)



- ・ リアカメラは車室外にも取り付けできますが、その場合はリアカメラステーの①部分を取り外してご使用ください。



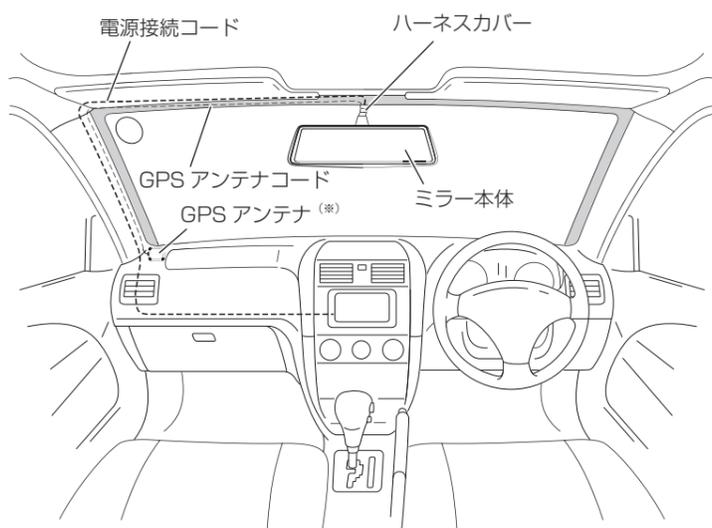
⚠ 注意

リアカメラを車室外へ取り付ける場合は国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準第 18 条」に適合させる必要がありますので、販売店にご相談ください。

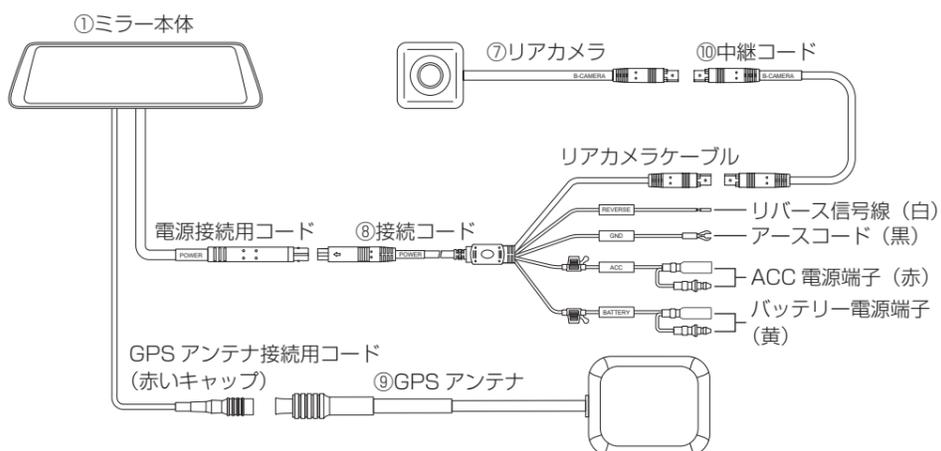
6

● 電源コードの配線

下図のように①ミラー本体と⑨GPS アンテナ、⑧接続コードを配線し、⑦リアカメラは⑩中継コードを使用して接続します。(必要に応じて、付属の⑬クランプをご使用ください。)



(※) GPS アンテナはダッシュボードの左奥に取り付けます。



7

● フロントカメラ / リアカメラの角度調整

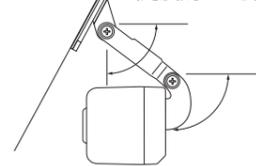
- フロントカメラの角度調整

- ・ エンジンがオフの状態、通常のミラーとして後方確認できるように角度調整をします。
- ・ エンジンをオンにして本機を起動します。
- ・ フロントカメラ映像に切替え、ミラー本体背面のカメラ角度を調整します。

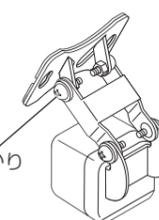
- リアカメラの角度調整

- ・ リアカメラ映像に切替え、後方視野が確保できるようにリアカメラ取付角度を調整します。
- ・ 調整後、カメラステーのネジをしっかりと締めてください。

(角度調整の例)

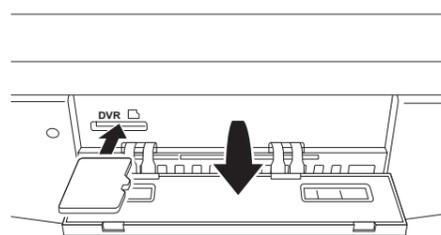


ネジはしっかり締める



- microSD カードの装着 (お買い上げ時は既に装着されています)

- ・ ミラー本体下部のカバーを開け、microSD カードを挿入します。



8